

修 士 論 文 の 和 文 要 旨

研究科・専攻	大学院 電気通信学研究科 情報工学専攻 博士前期課程		
氏 名	廣瀬 泰弘	学籍番号	0731041
論 文 題 目	計算機システムにおけるヒューマン・インタフェースに関する研究 モバイルサイトにおける Web ユーザビリティ評価システムの開発		
<p>要 旨</p> <p>本研究では携帯電話での利用を想定した Web サイトのユーザビリティを W3C の Mobile Web Best Practices 1.0 のチェックリストを基に自動評価し、ユーザへその評価スコアを提示するシステムを開発し、有効性について検討した。</p> <p>携帯電話等のモバイル端末ではパソコンと比べるとポインティングの機能に乏しいため、パソコンで Web サイトを閲覧するときと比べ、その構造や情報の提示方法がユーザエクスペリエンスに大きく影響する。また、パソコンと違い携帯電話のネットワークの情報伝達容量が少なく、端末で扱えるコンテンツの形式が多くないため、コンテンツの形式やその容量もユーザエクスペリエンスに大きく影響する。更に、携帯電話などは移動中など様々な環境下で利用される状況が考えられるため、PC の場合とは異なる視点でユーザビリティを考慮する必要がある。</p> <p>そのような携帯機器などのモバイル環境で扱われる Web ページを評価するための基準として、Web 利用を容易にする新たな標準として、Mobile Web Best Practices 1.0 が W3C 勧告として公開されている。この勧告中にある 60 項目に渡るチェック項目があるが、その中から 9 項目を本システムのチェック項目とした。</p> <p>その項目に関してパラメータを変化させた Web サイトを構築しそのサイト上で被験者にタスクを実行してもらい、その Web サイトの主観評価を行ってもらった。その評価とシステムの各項目の評価スコアを利用して、各項目のスコアの重みを求めた。次に別に各項目ごとの特徴を複合化した Web サイトを被験者に評価してもらい、最初の実験で求めた重みを利用して合算した評価スコアと被験者による評価スコアと比較を行った。</p> <p>その結果、システムの算出した予測総合スコアがある程度ユーザの主観評価を予測できていることが分かった。</p>			